栅原学園だより　No.３

不易流行

令和７年６月９日
校長　　新免　道明

学校教育目標：「ふるさと栅原を愛し、心豊かにたくましく主体的に学ぶ子どもの育成」

小学校課程遠足

５月２日(金)、小学校課程がエイコンパークへの遠足を企画していましたが、あいにくの雨で中止となり、代わりに校内で異学年グループ交流を行いました。６年生が下級生をリードしてゲームを行い楽しく充実した時を過ごすことができました。お昼は仲良く交流ホールでお弁当を食べました。

お弁当タイム

下山好誼さんより

栅原学区出身で世界を舞台に大活躍しておられる、アパレルデザイナー下山好誼さんより、学園の児童生徒に自身のブランドである「ボートハウス」のステッカーや消しゴムをいただきました。その贈呈式が５月８日に校長室で行われました。下山さんが帰国できなかったため、藤原教育長から榮居生徒会長と角南児童会長に手渡され「あきらめなければ、夢はかなう」という熱い言葉をいただきました。

つなぐ、つながる

「栅原学園」は小学生と中学生が同じ施設で学習する義務教育学校です。「つながる」というキーワードの元、義務教育９年間を見通した教育活動を行っています。さらに今年からは岡山県教育委員会の「新夢への原動力構築事業」の指定を受けて、学区の保育園と学園を「つなぐ」取組も推進しています。５月９日（金）に、学区の「第１回保学連携担当者会」を開催しました。これからも保・小・中が連携して１２年間の大切な学びを支えていきたいと考えています。

第１回担当者会

民生委員あいさつ運動

児童生徒の登校時間帯に、民生委員の方々が校門や駐輪場付近で「朝のあいさつ運動」をしてくださっています。笑顔であいさつすると気持ちがいいですね！栅原学園でも「あいさつ」は大切にしています。ご協力いただきました民生委員の皆様、ありがとうございました。

あいさつ運動

交通安全研修会

５月２０日（火）にPTA主催で「交通安全研修会」を行いました。講師に「いのちのミュージアムグリーフサポートやまぐち」より、京井和子先生をお招きました。京井先生は自身の大切なご家族を飲酒運転の車によって失われたつらい体験を私たちのために話してくださり、かけがえのない命の大切さや、交通ルールを守ることの重要さを教えていただきました。児童生徒たちは静かに耳を傾け真剣に聴いていました。当たり前のことですが、道路を横断するときは交通信号に従うことや、自転車に乗る時はヘルメットをかぶることの大切さを再認識しました。

研修会の様子

引き渡し訓練

５月２３日（金）に地震を想定した「避難訓練」と「引き渡し訓練」を実施しました。「避難訓練」では、地震が起こった際にはまず落ち着いて自分の身を守るために机の下に入り、揺れがおさまるのを待って、経路を確認しながらグラウンドに避難しました。今年の引き渡し訓練はお家の方に各教室に迎えに来ていただきました。災害は、いつどこで起こるかわかりません。万が一災害が起こった際には今回の訓練が役立つことを願います。

教室で引き渡し

修学旅行

９年生が、５月２７日（火）～２９日（木）までの３日間、北九州方面に「修学旅行」に行ってきました。天候にも恵まれ、充実した３日間を過ごすことができました。以下、生徒の感想を紹介します。

◎最初は班別自主研修が心配だったけど、無事目的地に行くことができて楽しい研修になった。地図や腕時計を見ながら行動する習慣が身についた。途中２回ほどはぐれたけど、無事に班員に会うことができた時は安心した。「平和公園」ではガイドさんが案内してくださり、永井隆さんのことをたくさん学ぶことができた。「長崎原爆資料館」では実際に被爆した服やガラスなどを見て触れることができた。被爆者の貴重な体験も聴くことができた。初めての「ハウステンボス」は本当に広かった。おいしいものも食べることができたし、アトラクションにも乗ることができた。お土産も買えて大満足だった。宿泊した「ホテルオークラ」はとても立派な建物だった。バスガイドさんも楽しい人で良かった。３日目の水族館「マリンワールド海の中道」で見たイルカは、かわいくて賢そうだった。今回の修学旅行で、しっかり学び、しっかり遊ぶことができた。岡山に帰ったときは「ほっと」した。

ハウステンボス

高級ホテルのロビー

バックヤードツワー